

平成 27 年度 第 4・5 回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

平成 28 年 2 月 1 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 5 名

出席委員数 4 名

出席委員の氏名 (◎委員長)

◎ 飯田 敏雄 (86 歳、男、前砺波市文化協会会長)

西森 昭治 (42 歳、男、砺波商工会議所青年部直前会長)

小幡 豊 (66 歳、男、砺波市文化会館館長)

河合 要子 (49 歳、女、KO・RA・RE 代表)

※石村委員は所要の為欠席。

放送事業者側出席者名

河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)

青山 智則 (株式会社エフエムとなみ 業務部長)

古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 編成部長)

4 協議事項

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・寅のキトキトロックンロールレディオ
- ・教えて！世界のお正月

2. 4 月改編に対するアドバイス

3. その他

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

5 議事の概要

社長、委員長の挨拶に続き、協議へ。2つの番組に対しての感想やご意見をいただいた後、4月からの番組編成に対してのご意見や要望などアドバイスをいただいた。また、その後は、災害対応などについて意見交換を行った。

また、FMとなみをより多くの市民に聴いていただくための多面的な意見がでた。

6 審議内容（各委員の発言を要約して箇条書きで記載）

【石村委員 ※欠席のため、書面による提出】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

トークのテンポもよく、声も大きい、滑舌もよいので聴きやすい。

地元で活躍している方をゲストに招いて、寅さん目線で話を聞いてほしい。

- ・「世界のお正月」について

前田さんの声が聴きやすい。

外国の皆さんとの会話が近所の井戸端会議のような雰囲気であたたかく心地よかった。

普段から国際交流に携わっていらっしゃる前田さんならではの番組の雰囲気だと感じた。

【小幡副委員長】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

ロックを取り入れたことが評価できる。

若者を引き付ける取り組みである。

ゲストで出演された三重のアーティストが魅力的だった。

これらのアーティストを招いてミニコンサートや公開録音なども検討してみてもどうか。

- ・「世界のお正月」について

外国から日本を見ることは、自分たちの文化・生活を見つめ直す機会になる。

地域の活性化に繋がる。

もっと自分たち（日本）の文化を掘り下げることができればよかった（行事や習慣の背景、成り立ち、歴史など）。

外国の方たちが話をするので、正直聞きづらさはあった。

【河合委員】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

全体的に聴きやすかった。

テンポ、間の取り方がうまい。

県外のアーティストがゲストで登場していたが、身近なゲストの話も聞いてみたい。

サテライト、音楽セッションなどができればいい。

- ・「世界のお正月」について

進行の前田さんの外国人の話に対するフォローがよかった。

外国人の話は少し聴きづらい部分があり、集中して聴かなければならなかった。もう少し聴

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

きやすくなるといい。

1時間は長いので、30分程度で2回に分けるとか、曲をもっと挟むなどテンポを考えた方がいい。

BGMをお正月らしいものにしたら、時節に合ってよかった。

【西森委員】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

明るく、テンポもよく、感心した。

最初のプロフィール紹介は柔らかい言葉でしているため、嫌な印象を受けず、人物像が浮かびやすかった。

いい意味での若者言葉（若い人たちにも伝わりやすい言葉）で親しみやすいのではないか。

- ・「世界のお正月」について

企画が面白い。

前田さんが主宰する団体の紹介があったらよかった。

前田さんの言葉のフォローが上手い。

【飯田委員長】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

年配者に「ロック」がわかるのか、伝わるのかが心配。

「ロックとは何か？」など、ロックの理解がもう少し深められたらよかったのではないか。話しの間合いやテンポはよかった。

- ・「世界のお正月」について

世界の文化の違いに驚いた。

お正月に世界各地の文化の違いがよく表われていた。

「日本はどうだろう？」と考えさせられた。

若者に忘れ去られている日本の文化を改めて見直すことができるのではないか。

前田さんの声がいい。

【河合社長】

- ・「寅のキトキトロックンロールレディオ」を番組審議の対象とすることに正直ためらう部分もあった。なぜなら、あまりにも限られたリスナーに向けた番組になる可能性もあるからだ。しかし、皆さんの意見を聴いて安心した。

【小幡副委員長】

- ・現在は多様化の時代、NHKの紅白歌合戦のようにすべての年代の人に視る、聴いてもらえる番組は少ない。広くたくさんの方に聴いてもらえる番組も必要だし、あるジャンルに特化した番組があってもいい。報道、音楽、地域情報、文化など様々な分野のバランスを考え、トータルでたくさんの方に聴いてもらえる放送局になってもらいたい。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・日頃から、どんな情報がどんな風に流れるのかを市民（リスナー）に理解してもらうことが大切。有事の際には FM となみを聴けば、砺波の情報が得られるという周知が必要。
- ・災害が少ないと言われる富山県、しかし、地震のリスクは砺波市が一番高い。天候不順の現代、洪水の危険もあるし、危険へのシュミレーションが大切。

【飯田委員長】

- ・大規模災害への対応ばかり取り沙汰されるが、子供が用水に落ちる、除雪や雪の事故など、身近な危険に対する備えや啓蒙も大切。
- ・生活を見直すきっかけに。
- ・季節によって気をつけなければならないことも違う。
- ・砺波市は新興住宅も多く、世代間で地域のルールが共有されていないこともある。環境の違い、暮らしの知恵を理解してもらえるような情報提供も必要。

【河合社長】

- ・臨時災害放送局の概要と、砺波市との折衝状況を説明。
割り込み放送の仕組みを確立し、定期的な試験放送を通じて市民への意識づけをしていきたい。となみ野エリアへの意識はしっかりもっている。災害時の生活支援情報提供を確立させる方策を今後も検討していきたい。
- ・災害時のコミュニティーラジオの必要性は言うまでもなく、第一報は NHK だが、その後の生活支援情報は FM となみを聴いてもらえるような意識付けを市民にしていきたい。そのための方策を検討していきたい。
- ・一昨年、難聴エリアの解消を目的にインターネットラジオを開始した。五箇山などでも FM となみを聴くことができるようになっている。
- ・4月から TST のデータ放送上で FM となみの放送を聴くことができるようになる予定。聴取方法を増やすことで情報提供の仕組みを確立させていきたい。

【小幡副委員長】

- ・先ほどの地域防災情報の中で地域の見守り隊や自主防災組織に話を聞いてみたらどうか。

【河合委員】

- ・避難経路、119 番通報の仕方など、安全安心のための情報提供を日常的にしてもらえたら有益。

【小幡副委員長】

- ・今年 8 月に県防災訓練が砺波市で実施される予定。FM となみも情報伝達訓練をしたらどうか。

7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
平成 28 年 2 月 2 日付北日本新聞朝刊に記事を掲載した。FM となみの HP 上でも公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------